



No. 625

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

August & September

2021
令和3年

8・9





Contents

デンタルアイ	1
榑 正幸	
新役員紹介	3
会務	7
理事会報告	11
会務日誌	14
医療管理委員会だより	19
学校歯科委員会だより	21

表紙写真について

青森県五所川原立佞武多

高さ22メートル（台座約10メートル、人形約12メートル）、重さ18トン、7階建てのビルに相当する大きさ。

町の中心街をゆっくり進み、大勢の人々で身動きが取れず、街はずれで電線・電信柱をよけながら撮りました。（2009年8月8日）

（社）茨城県南歯科医師会 斉藤 澄夫

新会長挨拶



会長
榎 正 幸

6月23日の代議員会において茨城県歯科医師会会長に選出され、6月24日付けで就任いたしました榎正幸です。

森永前会長の下で5期10年間役員（社会保険部長）を務めてまいりました。この間、多くの事を学ばせていただき心より御礼申し上げます。今後は、副会長の大字崇弘先生、鶴屋誠人先生をはじめとする留任された役員の先生方、新任の理事の方々、さらには本年4月に就任した村田隆事務局長を中心とする事務局職員と共に力を合わせ、茨城県歯科医師会の発展に尽力してまいりたいと思います。

また、この度退任されました役員の方々に心より感謝を申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導をお願いいたします。

さて、前任の森永会長が10年にわたり粉骨碎身会務執行された会長職をお引き受けするのは身の引き締まる思いがいたします。

この度の代議員会の結果は、会員皆様の動揺は如何ばかりかと推察いたしますが、今回の会長就任は、率直に申し上げて、私にとって非常に難しい決断でした。

私は、今後2年間会務執行に向けて邁進し、次の世代への橋渡しと考えております。茨歯会の業務に関しては、各理事の先生方と共に執行

する方針ですので、私を叱咤激励していただき、皆様に助けていただきながら、精一杯がんばりたいと思います。

本会は「公益社団法人」として今年度の事業計画と予算の内容は3月18日に開催された第12回理事会において承認されたとおりですが、今後その計画を実行していく上で、私が重要と考えております事柄について以下に列記いたします。

1. 「公益社団法人茨城県歯科医師会会長予備選挙規則」 についてです。

（趣旨）第1条2. 前項の会長予備選挙とは、代議員会で選任する理事のうち、選任後の理事会で代表理事となるべき会長の候補者を、会員の意思で予め選挙することにより、理事会による代表理事選の参考とするために行うものである。即ち会長となるためには、代議員会において過半数の代議員から信任を受け、新選の理事とならなければならない。また新選の理事は理事会を開催し、互選により代表理事たる会長を選出する。新会長を選出するのはあくまでも新選の理事会であり、「会長予備選挙」の結果は会員の「意識調査」であり、理事会による

代表理事選任のための「参考」に過ぎない。あれだけの煩雑な手順を経て投票した結果が「意識調査」であり、理事会における「参考」とされるに過ぎないとは俄かには信じがたい結論ですが、現行の定款、様々な規則からこのような結論にしかありません。この定款、規則の速やかな検討を最重要課題として取り組む所存です。

2. 組織率向上

前会長からの課題ですが、組織率の向上であります。それは歯科医師連盟と両輪となり本会の入会率を高める努力をします。本会への加入を控える先生方のその主な理由として「歯科医師会に加入してもメリットがないから」という声をよく耳にしますが、メリットがあるかないかは加入して初めてわかるということもあります。どのようにしたら本会に加入されていない先生方が歯科医師会に興味を持ってくれるのか、知恵を絞っていきたいと思います。

3. IT化

これは避けては通れない道であります。今までは検討してきましたが、専門の部局を創設し

て歯科医師会全体のIT化を進めて行く必要があると考えております。理事会運営、広報活動、各種データ管理等々、時代に遅れないように取り組んでいかなければなりません。一方で、IT関連に不慣れな先生方への配慮も怠らないようにしたいと思います。

4. 事務局の強化

1,341名（5月31日現在）を超える会員を抱える本会を支えていくには、事務局職員の力が必要不可欠です。その内容は多岐にわたり、それぞれに専門の知識が要求されるようになってきています。一般事務、IT関連などをバランスよく配置し、若手を育てていく努力を怠ってはいけません。管理職を経験された村田新局長の手腕に期待したいと思います。

最後に、本会の主役は会員の先生方であることを肝に銘じ、先生方の本業である歯科医療を安心して続けられるよう、役職員一丸となって努力してまいりたいと思います。新執行部ゆえに不慣れな点も多々あるかと存じますが、皆様方のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新 役 員 紹 介

会 長 幸
榊 正



副会長 弘
大 字 崇



副会長 人
鶴 屋 誠



専務理事 進
渡 辺



常務理事
小 林 不 律
(会計)



常務理事
村 居 幸 夫
(総務)



常務理事
小野寺 鏡 子
(介護保険)



常務理事
北 見 英 理
(地域保健)



常務理事
今 湊 良 証
(学術)



理 事
飯 島 清 人
(IT)



理 事
柴 岡 永 子
(広報・マスコミ)



理 事
沼 田 裕 之
(厚生)



理 事
大 野 勝 己
(社会保険)



理 事
柴 崎 崇
(学校歯科)



理 事
堤 浩 一 郎
(専門学校)



理 事
中 井 巳 智 代
(医療管理)



監 事 夫
野 堀 幸



監 事 弘
間 宮 高



監 事 人
飯 塚 秀



代 議 員 会

議 長
青 木 秀 史



副議長
兼 久 大 輔



地 区 会 長 紹 介

日立地区
立 原 正 仁



珂北地区
小 林 克 男



水戸地区
田 澤 重 伸



東西茨城地区
伊 藤 幸 夫



鹿行地区
関 戸 正 倫



土浦石岡地区
福 田 健 一



つくば地区
横 張 雅 彦



県南地区
兼 久 大 輔



県西地区
青 木 秀 史



西南地区
橋 本 正 一



各部委員会

(1) 学術委員会

部長	今 湊 良 証	(東西茨城)
委員長	阿 部 英 一	(珂 北)
副委員長	上 野 卓 也	(水 戸)
委員	畑 中 秀 隆	(日 立)
〃	菊 池 正 浩	(東西茨城)
〃	高 柳 龍 司	(鹿 行)
〃	秋 吉 大	(土浦石岡)
〃	今 村 由 紀	(つ く ば)
〃	森 陽 一	(県 南)
〃	中 川 威	(県 西)
〃	安 喰 昭 浩	(西 南)

(2) 厚生委員会

部長	沼 田 裕 之	(鹿 行)
委員長	中 山 映 志	(県 西)
副委員長	渡 辺 潔	(西 南)
委員	和 田 勉	(日 立)
〃	佐 川 武 義	(珂 北)
〃	米 川 久	(水 戸)
〃	梅 里 朋 大	(東西茨城)
〃	鈴 木 謙 介	(鹿 行)
〃	荒 川 幸 治	(土浦石岡)
〃	伊 澤 武 志	(つ く ば)
〃	橋 本 秀 明	(県 南)

(3) 医療管理委員会

部長	中 井 巳智代	(西 南)
委員長	奥 田 雅 人	(東西茨城)
副委員長	大 貫 範 生	(県 南)
委員	今 川 隆	(日 立)
〃	飯 塚 知 明	(珂 北)
〃	馬 場 耕 平	(水 戸)
〃	重 藤 良 平	(鹿 行)
〃	山 口 孝 之	(土浦石岡)
〃	磯 山 真 也	(つ く ば)

委員	渡 邊 伸 哉	(県 西)
〃	川 俣 光 司	(西 南)

(4) 広報委員会

部長	柴 岡 永 子	(珂 北)
委員長	富 田 浩 之	(県 南)
副委員長	出久根 亮 一	(鹿 行)
委員	佐 藤 慶 尚	(日 立)
〃	成 井 敏 幸	(珂 北)
〃	加 藤 毅	(水 戸)
〃	石 本 崇 子	(東西茨城)
〃	大 木 勝 生	(土浦石岡)
〃	坂 入 正 彦	(つ く ば)
〃	古 橋 仁	(県 西)
〃	小 野 道 範	(西 南)

(5) 総務委員会

部長	村 居 幸 夫	(水 戸)
委員長	津 田 哲	(県 西)
副委員長	三 浦 雅 美	(西 南)
〃	小 泉 雄二郎	(珂 北)
委員	北 見 修 一	(日 立)
〃	村 田 智 明	(水 戸)
〃	玉 川 台 俊	(東西茨城)
〃	林 寿	(鹿 行)
〃	幕 内 宏 則	(土浦石岡)
〃	豊 福 偉 大	(つ く ば)
〃	清 原 秀 樹	(県 南)

(6) 地域保健委員会

部長	北 見 英 理	(日 立)
委員長	土 屋 雄 一	(土浦石岡)
副委員長	深 谷 聖	(水 戸)
〃	大 里 一	(県 南)
委員	小 泉 望	(日 立)
〃	葛 城 康 維	(珂 北)
〃	鈴 木 聡 美	(東西茨城)

委員 本間 一哉 (鹿 行)
 “ 根 本 光 (つ く ば)
 “ 保 坂 榮 勇 (県 西)
 “ 鈴 木 哲 之 (西 南)

(7) 介護保険委員会

部 長 小野寺 鏡 子 (西 南)
 委員 長 土 子 吉 久 (東西茨城)
 副委員 長 神 田 稔 (水 戸)
 委 員 須 田 聡 (日 立)
 “ 高 橋 健 (珂 北)
 “ 下河邊 文 則 (鹿 行)
 “ 野 木 隆 久 (土浦石岡)
 “ 加 園 真 樹 (つ く ば)
 “ 拝 野 俊 之 (県 南)
 “ 中 川 健 (県 西)
 “ 保 科 守 (西 南)

(8) 学校歯科委員会

部 長 柴 崎 崇 (県 西)
 委員 長 原 田 和 弥 (県 西)
 副委員 長 青 砥 聖 二 (珂 北)
 “ 関 根 靖 浩 (水 戸)
 委 員 薄 井 克 巳 (日 立)
 “ 國府田 美 葉 (東西茨城)
 “ 内 堀 史 朗 (鹿 行)
 “ 高 木 幸 江 (土浦石岡)

委 員 高 田 将 生 (つ く ば)
 “ 櫻 井 英 人 (県 南)
 “ 長 澤 篤 (西 南)

(9) 社会保険委員会

部 長 大 野 勝 己 (つ く ば)
 委員 長 酒 井 一 範 (土浦石岡)
 副委員 長 森 田 広 (西 南)
 “ 岩 間 英 明 (鹿 行)
 委 員 大 平 章 裕 (日 立)
 “ 山 口 昌 宏 (珂 北)
 “ 松 尾 裕 之 (水 戸)
 “ 長 谷 哲 郎 (東西茨城)
 “ 小 林 之 直 (つ く ば)
 “ 小 原 俊 彦 (県 南)
 “ 鶴 見 毅 (県 西)
 予備委員 黒 澤 教 昭 (日 立)
 “ 浅 香 康 仁 (珂 北)
 “ 尾 山 正 洋 (水 戸)
 “ 長谷部 正 朗 (東西茨城)
 “ 野 口 拓 (鹿 行)
 “ 加 藤 富志雄 (土浦石岡)
 “ 舟久保 立 (つ く ば)
 “ 山 田 知 範 (県 南)
 “ 鬼 澤 徹 (県 西)
 “ 長 野 泰 弘 (西 南)

会務

第169回定時代議員会報告

令和3年6月23日（水）14：00より第169回定時代議員会が代議員及び予備代議員43名出席のもと開催された。氏名点呼、黒沢俊夫副会長による開会の辞の後、コロナ禍であり顕彰は見送りとしたが、令和3年春の叙勲の荣誉に浴した鈴木潤一、荒蒔勝邦両先生の受章が報告された。



仮議長として青木秀史先生が選出され、議事録署名人2名を指名した。続いて物故会員の黙祷が行われ、森永和男会長の挨拶（後掲）の後、ご来賓の茨城県歯科医師連盟の飯野守康理事長、大和田一雄顧問弁護士にご挨拶をいただき、税理士法人AOIの田口様が紹介された。



続いて報告事項に移り、仲田豊委員長より議事運営特別委員会報告、また渡辺進専務理事より令和2年度事業報告があり、質疑応答の後了承された。続けて議事に入り以下5議案の審議が行われた。

- 第1号議案 代議員会議長の選出に関する件
- 第2号議案 公益社団法人茨城県歯科医師会令和2年度決算に関する件
- 第3号議案 公益社団法人茨城県歯科医師会労働保険事務組合事務処理規約の一部を改正する規約案に関する件
- 第4号議案 役員の選任に関する件
- 第5号議案 日本歯科医師会代議員・予備代議員選挙に関する件

まず第1号議案代議員会議長の選出に関する件が上程され、渡辺進専務理事が議案の趣旨説明を行い、仮議長の青木秀史副議長が議長に選出され、空席となった副議長に兼久大輔先生が選出された。新たな正副議長の挨拶後、議会は休憩を挟んで議事を再開し、議事運営特別委員会で定められた第4・5号議案から審議された。

第4号議案役員の選任に関する件が上程され、渡辺進専務理事が議案の趣旨説明を行い、選挙管理委員会により役員選挙が執行された。選挙の結

果、理事候補13名（定数3名以上16名以内）監事候補3名（定数3名以内）のうち、理事11名監事3名が過半数の賛成票を得て選任された。

ここで事前質問に関する質疑応答がなされた後、理事を16名まで増員することについて動議が提出され、賛成多数で承認された。休会を挟んで新役員による協議のもと5名の追加理事が推薦され、質疑応答の後採決が行われ、改めて理事16名監事3名が可決確定された。

結果は以下の通り。

理 事

小林 不律	北見 英理	沼田 裕之
榊 正幸	大字 崇弘	中井巳智代
小野寺鏡子	柴崎 崇	今湊 良証
堤 浩一郎	鶴屋 誠人	渡辺 進
村居 幸夫	飯島 清人	柴岡 永子
大野 勝己		

監 事

飯塚 秀人	間宮 高弘	野堀 幸夫
-------	-------	-------

（以上敬称略 順不同）

引き続き第5号議案日本歯科医師会代議員・予備代議員選挙に関する件が上程され、渡辺進専務理事が議案の趣旨説明を行い、選挙管理委員会により、立候補届の提出は代議員3名（定数3名）予備代議員3名（定数3名）で、立候補者は全員適格者であるとの報告がされたが、質疑応答の後に採決が行われ、原案は否決された。

しかし本案件は日本歯科医師会の委託事業であり、現代議員の任期が6月末で満了となることから、この場で新たな候補者を推薦する事が賛成多数で承認され、被推薦者について審議の結果、被推薦者を本選挙の当選者とする事について可決確定された。

結果は以下の通り

日本歯科医師会代議員

榊 正幸	大字 崇弘	鶴屋 誠人
------	-------	-------

日本歯科医師会予備代議員

渡辺 進	村居 幸夫	小野寺鏡子
------	-------	-------

（敬称略 順不同）

続いて第2号議案公益社団法人茨城県歯科医師会令和2年度決算に関する件が上程され、海老原一芳常務理事による議案の趣旨説明の後、監査報告を経て、原案どおり可決承認された。

その後、第3号議案公益社団法人茨城県歯科医師会労働保険事務組合事務処理規約の一部を改正する規約案に関する件は、渡辺進専務理事による議案の趣旨説明の後、審議され可決確定された。

以上ですべての日程を終了し、征矢亘副会長の閉会の辞により閉会となった。



代議員会での会長ごあいさつ

茨城県歯科医師会 会長 森永 和男

本日は第169回茨城県歯科医師会定時代議員会にご出席頂き、誠にありがとうございます。私にとって最後の茨城県歯科医師会代議員会となりますので、精一杯頑張ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

この10年間は長い時間ではありましたが、ある意味ではあっという間の時間でもありました。と申しますのも私が描いていた茨城県歯科医師会に近づける理想に邁進して参りましたが、10年間を振り返って見ますと現実にはほど遠く自分自身の実力のなさを痛感しております。ただ、自分の年齢の事を考えますと、自分のわがままを通すことは茨城県歯科医師会にとって決してプラスの方向には行かないと考え、昨年の9月に次期会長予備選挙には立候補しない旨を皆様に申し上げました。

思い起こせば2009年（平成21年）に茨城県歯科医師会の現状を知りたく本会副会長に立候補し、当選させて頂き勉強をさせて頂きました。

当時、驚いたのがあまりにも茨城県歯科医師会が内向きの活動、すなわち歯科医師だけの世界にこもっているなという感想でした。

2年間の内にどうしても打破しなければという思いから副会長として進言させて頂きましたが、効果が上がらず悶々としていましたので、無謀とは言われましたが茨城県歯科医師会に少しでも新しい風を吹き込む一助になれば良いという一心から会長選に向けて全県下を行脚したことを思い出します。

奇跡的にも会員の信任をいただき理想を膨らませ、船出の準備をしていた矢先に忘れることが出来ない未曾有の東日本大震災がその年の3月11日に発生してしまいました。

まだ理事候補で理事として正式な決定はなされていませんでしたが、有事ということでお許しをいただき、すぐに行動をおこして頂き茨城県歯科医師会の活動に参加して頂きました。今思いますと、あの時の理事全員の結束力が今の私を作り上げて下さったのかなとあらためて感謝しております。

ただ、あの災害で課題を突きつけられたのが、歯科医師がいかに世の中では認められていないということでした。歯科医師会が井の中の蛙であるということです。

当時ボランティアをなされていた先生方をご存知でしょうが、避難場所にいても歯科医師の居場所がないという有様でした。それは想像以上でした。

私が描いていた、強い茨城県歯科医師会に対して挫折を感じたことを覚えております。

この時、私がやるべき第1の行動は歯科医師の存在を世間に認めて頂く事と考え、まず医師会との連携を図ることと考えました。しかし、その時の茨城県医師会には歯科医師会の存在はありませんでした。また、医療審議会の中でも、歯科医師会は蚊帳の外、この八方ふさがりの状態には怒りさえ感じました。しかし、これが茨城県歯科医師会の現状、歯科医師の現状と考え、この災害を契機に考え

たのが各市町村との災害協定を足がかりに保健福祉部に口腔ケアの大切さ、併せてあらゆる生活習慣病が歯周病に関与している事を訴え続けました。

幸いに44市町村との防災協定を5年かかりましたが、全市町村で締結させて頂きました。

これがきっかけとなり、健康キャンペーンも各地で開催することが出来ました。同時に一方では茨城県医師会との連携も徐々に進み、医師会の協力も得られ、四師会協議会が発足出来たことは大変有意義であったと考えております。これは執行部が代わろうと、決して絶やしてはいけないと考えております。

茨城県歯科医師会の内部構造改革でも、口腔センター事件以来、コンプライアンスの徹底を図るための改革をし、風通しの良い茨城県歯科医師会を目指して参りました。

これらのことがある程度達成できたのは、理事の先生方の献身的な協力あったからこそ達成できたと考えております。

これらのことで教えられたのが聞く耳を持つことの大切さであります。相手の考えを聞き尽くす、結論は最後の最後に出すことを心がけました。たとえ、私の愚かな意見でも会長として結論を出す決定してしまう事の恐ろしさであります。いかにそこで最大公約数を導き出せるかが勝負と考え執行して参りました。

最後に、私が述べるのはおこがましい事とは重々承知しておりますが、あえてお願いしたいのは人生の出会いを大切に、常に相手の気持ちを理解する事と思っております。

私はこの10年間、この考え方で過ごして参りましたが、以外と難しいことと考えております。しかし自分にとって、それに向かって努力する事は可能と考えております。そして、人生百歳時代を迎えた現在、医療人として「時に癒やし、しばしば救い、常に慰む」をはなむけの言葉として茨城県歯科医師会が永遠に栄えることを願って挨拶と致します。

この10年間本当にありがとうございました。

理事会報告

第3回理事会

日 時 令和3年6月10日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(2) 開業予定の歯科医院について

(3) 疾病共済金の支払いについて

(4) 令和2年度茨城歯科専門学校 学校評価について

(5) 神栖市医療福祉費支給制度の公費負担者番号導入について

(6) 新型コロナウイルス感染症に関する日歯調査結果について

・日歯287号 歯科医業経営状況に関するアンケート結果

・日歯288号 感染症に係るアンケート結果

(7) 令和3年度歯と口の健康に関するポスターコンクールについて

(8) 第24回日本歯科医学会学術大会について

(9) 日歯「第26回口腔保健シンポジウム」開催のご案内

(10) 日歯広報コラム「都道府県通信」の執筆について

(11) 本会における「ダイバーシティ宣言」について

(12) 各委員会報告について

医療管理委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、専門学校

5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について
承認

(2) 第169回定時代議員会事前質問の取扱いについて
選管の決定を承認

(3) いばらきスポーツデンティスト資格更新に係る講習会の講師謝礼について
承認

(4) 茨城県言語聴覚士会の茨歯会館会議室使用について
新型コロナ感染拡大の状況を考慮し、お貸しする事を断念する

(5) 歯科医師によるワクチン接種の実施について
6/11県医師会鈴木会長との話し合いの結

果を地区会長メールへ速報

- (6) 歯科医院における新型コロナウイルス感染
対策（第四報）の無料配布について
承認

(7) その他

【今後の行事予定について】

6月23日（水）

14時から 第169回定時代議員会

18時20分から 第4回理事会

7月15日（木）13時から 第5回理事会

15時から 第170回臨時時代議員会

第4回理事会

日 時 令和3年6月23日(水) 午後6時20分

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 挨拶

3. 協議事項

- (1) 代表理事（会長）及び業務執行理事の選定
について
会長および業務執行理事の役割分担を決定

(2) その他

- ・役員等の出席が求められている当面の行事について説明

【今後の理事会等の予定について】

7月15日（木）

13時から 第5回理事会

15時から 第170回臨時時代議員会

8月19日（木）

16時から 第6回理事会

第5回理事会

日 時 令和3年7月15日（木）午後1時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

- (1) 一般会務報告

- (2) 開業予定の歯科医院について

- (3) かすみがうら市医療福祉費支給制度（市単
独事業分）の対象範囲の拡大に伴う取扱いに
ついて

- (4) 守谷市の小児に対する医療費助成の対象拡
大について

- (5) 四師会の新型コロナウイルスワクチン接種
支援について

- (6) 第24回日本歯科医学会学術大会（オンライ
ン開催）参加登録のお願い

- (7) 第2回フッ化物洗口研修会【WEB開催】について
- (8) 令和3年度噛むかむレシピコンテストについて
- (9) 第60回全日本学校歯科保健優良校被表彰校の推薦について
- (10) 茨城県難病相談支援センター地域交流活動事業「難病フェスタ2021」の後援依頼について
- (11) 各委員会報告について
医療管理委員会、広報委員会、地域保健委員会、社会保険委員会、専門学校
- (12) その他

5. 協議事項

- (1) 入会申込みの受理について
承認
- (2) 入学試験委員会規程の一部変更について
承認
- (3) 各委員会委員の委嘱について
 - ①常任委員会委員
 - ②茨城歯科専門学校運営委員会委員
 - ③茨城県歯科医師会口腔センター運営委員会委員
 - ④茨城県歯科医師会口腔センター管理委員会委員
 - ⑤いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員
 - ⑥医療事故処理委員会委員
 承認
情報管理委員会は継続審議

- (4) 第170回臨時代議員会の議事について
 - 第1号議案 代議員会議長及び副議長の選出に関する件
 - 第2号議案 議事運営特別委員会委員の選出に関する件
 - 第3号議案 裁定委員会委員の選任に関する件
 - 第4号議案 選挙管理委員会委員の選任に関する件

全て承認

- (5) 令和3年度事業費補助のお願い（茨城県女性歯科医会）
事業は承認、詳細は継続審議
- (6) 第12回太陽生命カップ大会へのいばらきスポーツデンティスト（IBSD）の派遣に係る一部費用負担について
承認
- (7) 歯科医院における新型コロナウイルス感染症対策 第五報の無料配布について
承認
- (8) 「歯科医師による新型コロナワクチン接種のための筋肉内注射」実技研修会を実施した地区への補助について
承認
- (9) 令和3年度第1回地区会長協議会について
10/14開催で承認
- (10) その他
【今後の行事予定について】
8月19日（木）16時から 第6回理事会
9月16日（木）16時から 第7回理事会

会務日誌

6月10日 第1回議事運営特別委員会を開催。タイムスケジュール、事前質問の取扱い、再質問・関連質問の取扱い、質疑応答（すべての場合において）の方法、傍聴の手続きについて協議した。

出席者 仲田議事運営委員長ほか12名

6月10日 第3回理事会を開催。入会申込みの受理、第169回定時代議員会事前質問の取扱い、いばらきスポーツデンティスト資格更新に係る講習会の講師謝礼、県言語聴覚士の茨歯会館会議室使用、歯科医師によるワクチン接種の実施、歯科医院における新型コロナウイルス感染対策（第四報）の無料配布について協議を行った。

出席者 森永会長ほか19名

6月16日 第3回社会保険正副委員長会議を開催。第3回委員会、指導、疑義、YouTubeによる施設基準研修、審査情報、理事会について協議を行った。

出席者 征矢副会長ほか4名

6月16日 第3回社会保険委員会を開催。疑義、YouTubeによる施設基準研修について協議を行った。

出席者 征矢副会長ほか20名

6月17日 第1回広報委員会を開催。会報7月号の編集・校正、来期への申し送りの確認、会報8・9月合併号について協議を行った。

出席者 柴岡広報部長ほか9名

6月22日 第1回循環器病対策推進協議会がWEB会議として開催され、茨城県循環器病対策推進計画の骨子案・素案ほかについて協議が行われた。

出席者 森永会長

6月23日 第103回日学歯定時代議員会が日歯会館にて開催され、令和2年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びに財産目録の承認、役員の選任について議事が執り行われた。なお、今回も新型コロナウイルスの影響により書面による議決権行使を可能としたため、本県の代議員2名は書面決議にて参加した。

6月23日 第2回選挙管理委員会を開催。役員選挙の当日のシミュレーションについて協議した。

出席者 堀江選挙管理委員長ほか6名

6月23日 第169回定時代議員会を開催。代議員会議長の選出に関する件、役員の選任に関する件、日本歯科医師会代議員・予備代議員選挙に関する件、令和2年度決算に関する件、茨城県歯科医師会労働保険事務組合事務処理規約の一部を改正する規約案に関する件について議事を執り行った。

出席者 青木代議員会議長ほか60名

- 6月23日 第4回理事会を開催。代表理事である会長及び業務執行理事の選定について協議した。
出席者 榊会長ほか18名
- 6月25日 第195回日歯定時代議員会が日歯会館にて開催された。令和2年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの付属明細書、財産目録及びキャッシュ・フロー計算書承認の件、役員報酬算定審議会委員承認の件、役員退職慰労金支給の件、理事選任の件、監事選任の件について議事が行われ、全議案可決、承認された。なお、今回も新型コロナウイルスの影響により書面による議決権行使を可能としたため、本県の代議員3名中2名は書面決議にて参加した。
出席者 森永日歯代議員会議長
- 6月25日 第2回オープンキャンパスを実施。歯科衛生士科に40名、歯科技工士科に3名の参加があった。
- 6月25日 第11回県新型コロナウイルス感染症対策協議会がWEB会議として開催され、本県の感染状況ほかについて協議が行われた。
出席者 榊会長
- 6月30日 第2回いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会をWEB会議として開催し、委員長に荻野義重氏、副委員長に千葉順一氏を選出し、マウスガード製法マニュアルの作成、太陽生命カップ（全国中学生ラグビーフットボール大会）への参加について協議を行った。
出席者 荻野SHPいばらき運営委員長ほか8名
- 7月 1日 第3回歯科助手講習会を開催。「保守管理、共同動作」について講義を行った。
受講者 49名
- 7月 2日 ダイバーシティ宣言セレモニーが県庁舎にて開催された。
出席者 榊会長ほか1名
- 7月 6日 第1回摂食嚥下研修会を開催し、食べるための構造とメカニズムについて研修を行った。
受講者 63名
- 7月 9日 四師会意見交換会がWEB会議として開催され、新型コロナウイルスワクチン接種推進に係る各師会の取組み、四師会協力による新型コロナウイルスワクチン接種支援について協議が行われた。
出席者 榊会長ほか3名
- 7月14日 未就業歯科衛生士復職支援のための講習会を開催。スケーリング、PTC、アルジネート印象剤練和、印象採得、石膏注入の実習の後、就職相談を行った。
受講者 1名
- 7月14日 第3回県医師会定例記者会見が県医師会にて開催され、四師会新型コロナウイルスワクチン接種支援チームほかについて発表が行われた。
出席者 榊会長ほか1名
- 7月15日 第5回理事会を開催。入会申込みの受理、入学試験委員会規程の一部変更、各委員会委員の委嘱、第170回臨時代議員会の議事、事業費補助のお願い（茨城県女性歯科医会）、第12

回太陽生命カップ大会へのいばらきスポーツデニティスト（IBSD）の派遣に係る一部費用負担、歯科医院における新型コロナウイルス感染症対策 第五報の無料配布、「歯科医師による新型コロナワクチン接種のための筋肉内注射」実技研修会を実施した地区への補助、第1回地区会長協議会について協議を行った。

出席者 榊会長ほか17名

7月15日 第170回臨時代議員会を開催。代議員会議長に青木秀史氏、副議長に兼久大輔氏を選出し、議事運営特別委員会委員の選出、裁定委員会委員の選任、選挙管理委員会委員の選任に関する件について議事を執り行った。

出席者 青木代議員会議長ほか60名

7月15日 第2回広報委員会を開催。委員長に富田浩之氏、副委員長に出久根亮一氏を選出し、令和3年度事業計画及び予算、委員会メーリングリスト、年間スケジュール、会報8・9月合併号、茨歯会HPとFacebookのリンクについて協議を行った。

出席者 柴岡広報部長ほか10名

7月15日 第2回議事運営特別委員会を開催、委員長に真中信之氏、副委員長に櫻井勝氏を選出した。

出席者 真中議事運営特別委員長ほか9名

7月15日 第4回社会保険委員会を開催。委員長に酒井一範氏、副委員長に森田広氏、岩間英明氏を選出し、委員の紹介を行った。

出席者 大野社会保険部長ほか20名

7月19日 第12回県新型コロナウイルス感染症対策協議会がWEB会議として開催され、感染拡大に備えた対応等について協議が行われた。

出席者 榊会長

7月20日 第4回学術委員会をWEB会議として開催し、委員長に阿部英一氏、副委員長に上野卓也氏を選出し、学術シンポジウムの開催、第30回歯科医学会の開催、第24回日本歯科医学会学術大会の事前申し込み、総合歯科診療専門医（仮称）、睡眠時無呼吸症に対する医科歯科連携ネットワークの構築について協議を行った。

出席者 鶴屋副会長ほか10名

7月21日 令和3年度労働保険未手続事業一掃推進員研修会がホテルテラスザガーデン水戸にて開催された。

出席者 須能

7月25日 第1回介護保険委員会をWEB会議として開催し、委員長に土子吉久氏、副委員長に神田稔氏を選出し、今年度の事業計画について協議を行った。

出席者 鶴屋副会長ほか10名

7月26日 県リハビリテーションケア学会学術集会第2回実行委員会がWEB会議として開催され、開催要綱、プログラムほかについて協議が行われた。

出席者 小野寺常務

7月28日 歯科専門学校にて第1回体験入学を実施。学校施設説明などを行い、歯科衛生士科に49

名、歯科技工士科には5名の参加があった。

7月29日 第4回歯科助手講習会を開催し、消毒、滅菌の必要性をテーマに「室、手指、器材、材料の消毒」「歯科診療補助の実際」について講義を行った。

受講者 47名

7月29日 新規指定保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。

対象医療機関数 6

7月29日 第3回地域保健委員会を開催。委員長に土屋雄一氏、副委員長に深谷聖氏、大里一氏を選出し、令和3年度の事業計画について協議を行った。

出席者 北見地域保健部長ほか11名

7月29日 県認知症施策推進会議が県庁舎にて開催され、茨城県の認知症対策ほかについて協議が行われた。

出席者 鶴屋副会長

7月30日 第2回学校歯科委員会をWEB会議として開催し、委員長に原田和弥氏、副委員長に青砥聖二氏、関根靖浩氏を選出し、令和3年度委員会年間スケジュール、県学校保健会評議員候補選任、各種全国大会参加者、第72回関東甲信越静学校保健大会・職域部会、令和4年度学校歯科保健研修会、フッ化物洗口研修会、ポスターコンクール、基礎研修・更新研修について協議を行った。

出席者 鶴屋副会長ほか11名

8月 2日 県医療審議会医療法人部会がWEB会議として開催され、医療法人の設立認可ほかについて審議が行われた。

出席者 榎会長

8月 3日 第2回摂食嚥下研修会を開催。「哺乳・離乳・自食機能の発達とその障害」について研修を行った。

受講者 64名

8月 4日 保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。

対象医療機関数 2

8月 4日 第3回いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会をWEB会議として開催し、11月28日の講演会、世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業、マウスガード製作講習会（SHPいばらき運営委員対象）の実施について協議を行った。

出席者 荻野SHPいばらき運営委員長ほか9名

8月 5日 第5回歯科助手講習会を開催し、「医薬品・材料の取扱い」「口腔衛生指導」「歯科材料の取扱い」について講義を行った。

受講者 45名

8月 5日 第72回関東甲信越静学校保健大会が本県を主管として「ヒロサワシティ会館」を配信会場にZoomによるオンラインで開催された。本年度のテーマは「子供の命と安全を守り、夢や可能性を育む学びの健康教育を目指して」ーコロナ禍における学校保健の在り方ー。特別講演では「空気を読むを科学するー微表情から察する子供の感情と空気ー」と題して株式会社

空気を読むを科学する研究所代表取締役の清水建二先生が講演され、午後からは5班編成での班別研究協議会が開催され、第4班〔学校歯科保健〕では「生活習慣病の予防等を目指した歯・口の健康づくり」をテーマに研究協議が行われた。

8月 5日 第72回関東甲信越静学校保健大会歯科職域部会を当番県としてZoomによるオンラインでライブ配信を行った。特別講演では「学校保健と歯科公衆衛生」と題して深井保健科学研究所の深井穂博先生が講演された。

8月 5日 第4回医療管理委員会を開催。委員長に奥田雅人氏、副委員長に大貫範生氏を選出し、令和3年度委員会事業計画について協議を行った。

出席者 中井医療管理部長ほか10名

8月 5日 第1回厚生委員会をひたちなか市内で開催。委員長に中山映志氏、副委員長に渡辺潔氏を選出し、令和3年度委員会事業計画について協議を行った。

出席者 沼田厚生部長ほか10名

8月 5日 第3回選挙管理委員会を開催し、委員長に堀江正徳氏、副委員長に星野浩伸氏を選出し、今後の日程について協議を行った。

出席者 堀江選挙管理委員長ほか10名

8月10日 県医療審議会及び保健医療計画部会がWEB会議として開催され、保健医療計画部会では会長代理の選任について協議が行われ、その後の医療審議会では第7次茨城県保健医療計画ほかについて協議が行われた。

出席者 榊会長



株式会社岩瀬歯科商会 と 株式会社ウチャマ は ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社 に社名変更いたしました

事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷1504-4	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市磯子区中原2-1-19 1F	TEL:045-770-4182
前橋支店	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡上堂支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
盛岡本宮支店	盛岡市本宮6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770
つくば営業所	つくば市花室940-6	TEL:029-863-0720
仙台支店	仙台市若林区荒井5-7-6	TEL:022-794-7066

We try best! -for healthy and white teeth-

医療+管理委員会 だより

歯科衛生士復職支援講習会

医療管理委員会 馬場 耕平

令和3年7月14日、茨城県歯科医師会館にて河北・東西茨城・水戸地区歯科衛生士復職支援講習会が開催されました。今回の参加者はつくばからご参加いただいた一名のみでした。

新型コロナ対策として前回同様講師はマスク及びフェイスシールドを使用しての講習会でした。

幸か不幸か参加者が一名であったことから十分なソーシャルディスタンスを確保することができ、なおかつ講師・受講者はman to manでの講習になったため、参加者にとっては安心かつ濃い内容になったと思います。

実習内容としましてはこれもあまり前回と変わりませんが、前回前々回とリクエストがあったアルジネート印象実習を初めから含めました。



実習内容

- ・キュレットスケーリング
- ・PMTC
- ・TBI
- ・アルジネート印象

参加者が一人で、予定よりも早く実習が終わったので参加者へ聞き取りを行ったところ、石膏の練和に自信がないとのことで、講師の先生方の計らいで、石膏の練和実習も行いました。



私としてはこれは目から鱗、歯科衛生士の業務として石膏模型の作製を行っている医院もあるので次回からもし受講者の希望があり、時間等に余裕があれば継続して行ってもいいのではないかと思います。

コロナ禍の昨今であります、前回前々回と三地区合同での歯科衛生士復職支援講習会は参加者の多い少ないはありますが、必ず開催されています。

他地区との違いとして、茨城歯科専門学校で開催される点が高いのかもしれませんが、この講習会は茨城県内各地で継続的に行われることにも意義があると思います。

現在離職しているが復職を考えている歯科衛生士の方が、まずは茨歯会の講習会を受けてみようと思ってもら、講習会を実施していることを知ってもらうことが大切ではないでしょうか。

それにはまずは継続的に行われること、参加者がいなくても講習会を開くことが「知って」もらう第一歩だと考えております。

追記

今回参加の方はつくば在住だったのですが、残念ながらご希望にそえる地区の求人が歯科医師会にありませんでした。

もし今回、会員の先生が歯科医師会に求人を出して頂いていれば、もしかするとご紹介できたかもしれません。

歯科医師会に求人を出してもどうせ…と思っている先生っ！ぜひ、求人をお出してください。

歯科医師会への求人はそんなに手間はかからないはずです。

とりあえず少しでも「歯科衛生士あと1人ほしいなあ」と思ってる先生方、ぜひ求人をお出しいただければと思います。



「第72回関東甲信越静学校保健大会」に参加して

学校歯科委員会 櫻井 英人

コロナが猛威を振るう中、マスク生活の夏は例年以上に暑さが身にこたえます。会員の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。令和3年8月5日（木）に、「第72回関東甲信越静学校保健大会」が開催され、参加しましたので報告させていただきます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で大会の開催は見送りとなり、今年はオンラインでの開催となりました。今年度は当県が開催担当県であります。72回を数える歴史ある大会で史上初のオンライン開催となりました。運営、実行の幹事を務められました茨城県教育委員会の皆様の御苦労は大変なものだったと拝察致します。

オンラインの開催に、自宅からZoomで参加の予定でしたが開催担当県のイメージが湧きづかった為、鶴屋副会長、柴崎理事に歯科医師会館での参加を相談させていただきました。先生方は保健大会終了後に開催される茨城県歯科医師会主催の「歯科職域部会」に備え、保健大会の開会時から会館にて参加されとのことでした。前日の急なお願いでしたが、先生方と一緒にさせていただけることになりました。

ザ・ヒロサワ・シティ会館内、第1集会室～第6集会室に大会本部が置かれ、「子供の命と安全を守り、夢や可能性を育む学びの健康教育を目指して」を今大会の主題としてZoom配信されました。

開会式 10時20分～

大会実行委員長である茨城県教育委員会：小泉元伸教育長による開会挨拶の後、茨城県学校保健会：鈴木邦彦会長、日本学校保健会：中川俊男会長のお二方より現在のコロナ禍および、今後のアフターコロナを見据えた学校保健の発展についてのお話をいただきました。最後に、開催地である水戸市の志田晴美教育長から歓迎の挨拶をもって開会式が終了となりました。



特別講演 10時50分～

「空気を読むを科学する～微表情から察する子供の感情と空気～」

講師：（株）空気を読むを科学する研究所代表

取締役 清水 建二 先生

講師の清水先生は日本国内で数少ない認定FACS（顔面動作符号化システム）コーダーという微表情読解の専門家です。物事に対して人は0.2～0.5秒の間にやり繕うことのできない本音が微表情に現れるとのこと。これを察知し読み解くことで、教育現場において子供との円滑なコミュニケーションを築くことができるという内容で、「眉間のしわ」をポイントにした子供への対応の違いを具体例として挙げられていました。

（例題）子供が失敗をした時

＊眉間のしわが一瞬で出現し消失した場合は「怒り」の表情であるため、フォローしつつなだめる対応がよい。

＊眉間のしわがしばらく残っている場合は「熟考」の表情であるため、何故こうなってしまったのかを一緒に考える対応がよい。

他にもクイズ形式でミーティング時の表情のスクリーンを見ながら、誰が一番熟考しているか表情を読むトレーニングなどが盛り込まれていました。特別講演を拝聴し、言わずとも微表情から心理的な感情をキャッチする姿勢は教育現場のみならず医師と患者の良好な関係を築くための大事な着眼点であると思いました。

ー 昼食休憩後 ー
13時40分～

班別研究協議会 協議会は5班で構成され、私は第4班に参加しました。

第4班「学校歯科保健」生活習慣病の予防等を目指す歯・口の健康づくり

（1）「歯と口の健康づくりの日常化を目指す学校歯科保健指導の在り方」

（提案者）群馬県高崎市立塚沢中学校養護教諭

鈴木 雅子 先生

「歯・口の健康につながる健康教育の実践」を軸に生徒に指導を行っている

＜取り組み具体例＞

- ①一日で行っていた歯科健診を複数日にし、一人当たりの健診時間にゆとりをもたせる
- ②事前に問診表を記入し、校医への伝達を充実させる
- ③担任から生徒へ健診結果を通知し、受診の声を協力してもらう
- ④保健日よりで歯科特集を組む
- ⑤健康チェックカードの充実、啓発標語づくり
- ⑥学校保健委員会の年4回実施、生徒・地域の方が参加
- ⑦教科（家庭科、保健体育、給食）を通して虫歯・歯周病が生活習慣病であることを学習
- ⑧広報誌を作成し、地域や家庭への配付による啓発活動
- ⑨地域合同学校保健委員会を開催し、小学生～高校生、地域の方で健康情報を共有

＜今後の課題＞

卒業後も生徒自身が主体性を持ち継続して行動できるように指導を行っていく

（2）「家庭及び地域社会との連携による歯科保健活動」

（提案者）東京都清瀬市立清瀬第七小学校主幹

教諭 須山 望 先生

「持続的に歯や口の健康づくりに取り組める児童の育成を目指して」を軸に児童に指導を行っている

＜取り組み具体例＞

- ①体育科保健領域において児童自身のプラークを採取し、映像にて菌の観察を行う実践的な指導

- ②特別活動で咀嚼チェックガムを利用し、虫歯・歯周病と咀嚼回数の関係を理解する
- ③児童会活動において「歯みがきマスターカード」の認定、歯みがきキャラクターのデザイン作成、あいうべ体操の啓発
- ④歯科健診後の早期受診・早期治療が重要であることを保護者に理解してもらうため
- I) 歯科保健活動に歯科衛生士も参画してもらう
- II) 保護者参加型の歯科保健活動
- III) 健診後、当日中に治療勧告書の配付→実施5年間で受診率が39.2%から57.0%に伸びた

<今後の課題>

歯磨きの技術向上、虫歯・歯肉炎だけでなく口腔機能を理解し、自ら歯と口の健康づくりに持続的に取り組める力の育成

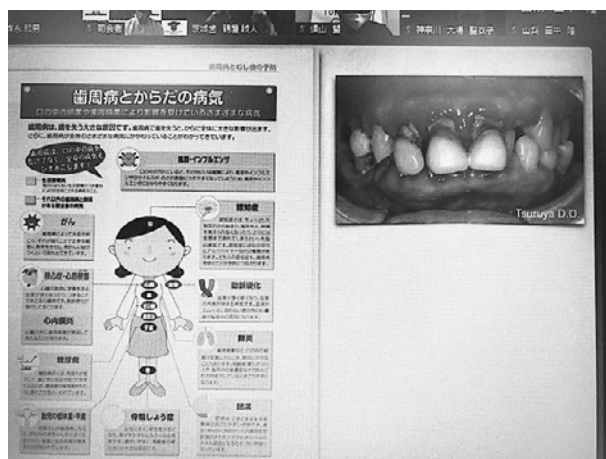
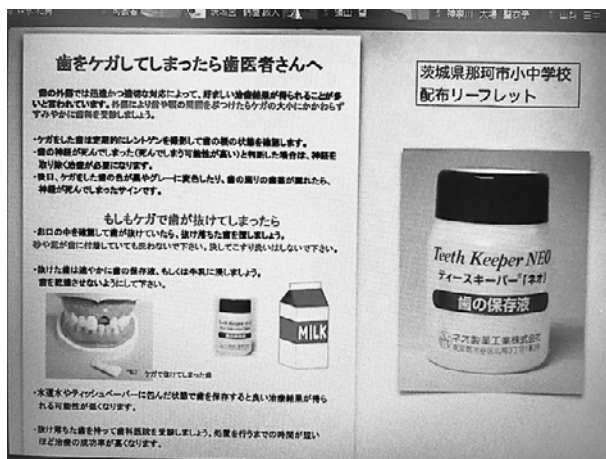
(3) 指導助言

茨城県歯科医師会副会長 鶴屋 誠人 先生

第4班の課題に対する提案及び発表をふまえた助言をいただきました。

発表された2校の先生方からこれからの課題として共通して挙げられたのは「主体性・継続・持続」の言葉でした。そして今後、この課題に対して学校保健は「他律的な健康づくり」から「自律的な健康づくり」に移行しなければならないこと、口腔機能発達不全、口唇閉鎖不全が成長と共に増加傾向にあることや“お口ポカン”などは担任の先生が気づき易い点であり「噛む重要性」や「あいうべ体操」の周知において、学童期から青年期前期（小中学生の時期）が重要であることを話されました。また、小中学校の先生方は子供達の虫歯が減少している認識ですが、小学6年生より中学1年生の方がDMF指数が高いという事実があることを知っていただき、十二歳臼歯が鍵であること、基本の歯磨き（最低でも朝夜の歯磨き）が行われているのかを再度見直していくよう訴えました。

スライドを用いながら「虫歯・歯周病予防の重要性」、「感染対策のための健診時におけるダブルミラー視診や二重グローブの紹介」、「早食いと肥満の関係」、「外傷に対する注意」等、時間の許す限り豊富な歯科トピックスを話していただきました。





次回開催担当県 神奈川県との挨拶

次回もオンラインによる大会開催となる予定

閉会16時00分

【感想】

オンラインによる第72回関東甲信越静学校保健大会を終えて思ったのは、演者の先生方を拝聴しながら参加された諸先生方の熱心な表情も伺うことができた事です。オンラインならではの良さを感じました。養護、保健を担当される先生方からはいつも生徒を思う温かい気持ちが伝わってきます。その一生懸命さに鶴屋副会長のプレッシャーは大変なものであろうと思うと同時に、真摯に向き合い指導助言される姿が強く印象に残りました。今回の経験を活かし、さらに学校歯科保健活動に取り組んでいきたいと思っています。

第72回関東甲信越静学校保健大会歯科職域部会 【WEB】開催報告

学校歯科委員会 高田 将生

講演「学校保健と歯科口腔衛生」

講師：深井保健科学研究所 深井穫博 先生

令和3年8月5日（木）、第72回関東甲信越静学校保健大会歯科職域部会が、昨年度はコロナ禍の為に中止になりましたが、今回はWEB講習会として開催されましたので報告させていただきます。

関係者各位140名の参加者が集まり、講師には深井保健科学研究所所長：深井穫博先生をお招きし、「学校保健と歯科公衆衛生」について講演して頂きました。深井先生は日本歯科医師会常任理事等の要職を歴任し、現在は日本口腔衛生学会副理事長、また厚生省や数多くの歯科大学にて講師を勤めておられます。



講演内容としては

1. 超高齢社会と健康
2. 健康長寿に寄与する歯科口腔保健の新時代
ーエビデンスと政策ー
3. 公衆衛生の観点からみた学校歯科保健の役割
ー健康格差の縮小とライフコースアプローチー

でした。

ライフコースアプローチとは、成人における疾病の原因を胎児期や幼少期、およびその後の人生をどのような環境で過ごし、どのような軌跡をたどってきたのかという要因で説明しようとする学問であります。

まとめとして

1. 人口構造の高齢化は社会保障財源の逼迫をもたらす。
2. 健康長寿社会の実現には、効果的な非感染性疾患（NCDs）とフレイル予防が必要であり、いずれに対しても口腔保健は共通リスク因子を有する基本的な要素である。
3. 小児期の口腔の健康格差は、成人・高齢期になるとさらに拡大するので個人へのアプローチに加えて健康の社会的決定要因への対策が必要である。
4. 高齢期の口腔の健康と歯の喪失は、小児期からの歯科疾患が重症化した結果であり、そのリスクの蓄積である。そのため生涯口腔保健にはライフコースアプローチが有効である。

5. 口腔保健は公衆衛生上の課題であり、健康格差の縮小とライフコースアプローチの観点から学校歯科保健を評価することが必要である。

という内容でした。

今回の講習を受講して、高齢化社会の社会保障財源の逼迫を防ぐためには、健康長寿社会の実現が必要であり、そのためには小児期からの口腔の健康格差を縮小させる、学校歯科保健の重要性を痛感致しました。



文部科学省 令和2年度学校保健統計調査速報（歯科部分抜粋）

単位（％）
（男女合計） （男） （女）

区分	歯・口腔										歯・口腔										歯・口腔																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	むし歯(う歯)					顎関節	歯肉の状態	歯肉の状態	歯肉の状態	歯肉の状態	むし歯(う歯)					顎関節	歯肉の状態	歯肉の状態	歯肉の状態	歯肉の状態	むし歯(う歯)					顎関節	歯肉の状態	歯肉の状態	歯肉の状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	計	完了	未処ある者	計	完了						未処ある者	計	完了	未処ある者	計						完了	未処ある者	計	完了	未処ある者					計	完了	未処ある者	計	完了	未処ある者	計	完了	未処ある者	計	完了	未処ある者	計	完了	未処ある者																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
幼稚園5歳	30.34	12.69	17.66	4.22	0.10	1.11	0.32	1.99	30.92	12.77	18.15	3.76	0.11	1.27	0.35	2.04	29.75	12.60	17.14	4.69	0.09	0.95	0.30	1.93	38.81	19.95	18.86	5.04	0.10	2.91	1.90	6.39	35.53	14.87	20.66	3.93	0.05	1.85	1.16	5.78	42.91	21.00	21.91	5.15	0.07	2.80	1.49	4.95	46.07	24.01	22.06	5.44	0.09	2.95	1.86	5.78	43.30	23.39	19.91	5.11	0.10	3.30	2.06	7.85	35.16	19.31	15.85	5.31	0.11	3.31	2.31	7.81	30.19	17.09	13.10	5.25	0.16	3.21	2.45	6.08	33.57	20.11	13.46	5.37	0.41	3.46	2.94	3.14	30.43	17.91	12.52	5.41	0.31	3.40	2.80	4.34	33.61	20.32	13.30	5.46	0.40	3.38	2.88	2.82	36.75	22.14	14.60	5.23	0.53	3.59	3.15	2.22	43.55	27.22	16.33	4.47	0.53	3.59	3.24	1.15	39.30	24.26	15.04	4.56	0.49	3.57	3.20	1.13	44.27	27.67	16.60	4.45	0.56	3.66	3.16	1.21	47.10	29.74	17.36	4.40	0.53	3.54	3.36	1.10	永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計					むし歯(う歯)					計				

有限会社 アイ・デー・エス は、
各種保険の代理店・集金業務
を行っております。

〈損害保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

〈生命保険会社〉

SOMPOひまわり生命保険株式会社

朝日生命保険相互会社

日本生命保険相互会社

大樹生命保険株式会社

明治安田生命保険相互会社

住友生命保険相互会社

第一生命保険株式会社

アフラック生命保険株式会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〈取扱保険商品〉

医師賠償責任保険

個人情報漏えい保険

クレーム対応費用保険

所得補償保険

長期傷害所得補償保険

家族傷害保険

デンタルファミリー傷害保険

ゴルファー保険

自動車保険

火災保険

グループ保険（団体定期保険）

小規模企業共済

新規加入、増額変更、何なりとご用命ください。

有限会社 アイ・デー・エス

代表取締役 森永 和男

水戸市見和 2 丁目 292 番地の 1 茨城県歯科医師会館内 Tel:029-254-2826

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社)茨城県南歯科医師会 齊藤 澄夫

会 員 数

令和3年7月31日現在

地 区	会員数(前月比)
日立	115
珂北	144
水戸	155
東西茨城	72
鹿行	101
土浦石岡	179
つくば	137 +1
県南	176
県西	154
西南	104
準 会 員	6
計	1,343 +1

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員 1,139名
2種会員 74名
終身会員 124名
準 会 員 6名
合 計 1,343名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和3年8・9月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。